

社会福祉法人のマネジメントと会計

2単位

担当教員：池野谷 博信

会計の基礎知識を通じて、社会福祉法人の経営及び経営改革の特徴を理解する

講義目的・到達目標

社会福祉法人の会計の基礎知識を学ぶ

社会福祉法人の会計や経営分析とは何か。特に貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書とは何かを説明する。加えて同計算書類を利用した経営分析の方法を説明する。

社会福祉法人の実例から、そこでの経営や経営改革の特徴を理解する

最初に社会福祉法人制度や社会福祉事業者の実態について説明し、介護保険制度や介護保険事業者の経営の特徴について説明する。その後、3つの社会福祉法人の経営者または管理者が、それぞれの法人の経営や経営改革の特徴を説明する。各法人の歴史的経過、事業展開の状況、理念・経営方針、短期計画・中長期計画、経営管理システム等を説明する。

講義の構成

講義の流れ

まず全体の講義の目的と講義の進め方を説明し、講義を受講する場合の注意点を説明する。次に社会福祉法人の会計や経営分析の基礎を説明する。さらに社会福祉法人制度、介護保険制度、介護保険事業者の経営の特徴を説明する。その後、3つの社会福祉法人の実例から、そこでの経営と経営改革の特徴を説明する。

1 講義の目的・講義の進め方

2 社会福祉法人の会計及び経営分析の基礎知識

3 社会福祉法人制度、介護保険制度及び介護保険事業者の経営の特徴

4 A 社会福祉法人の経営と経営改革の特徴

5 B 社会福祉法人の経営と経営改革の特徴

6 C 社会福祉法人の経営と経営改革の特徴

講義のポイント

1. 各講師の言う経営、経営改革とは何か、経営改革は何を改革するのか。
2. 経営改革は誰が主導で、いつ、どんな状況の時に、いかなる方法を利用して行われたのか、その方法はどこに由来するのか。
3. それぞれの経営改革で期待されたものは何か、実際はどのような結果をもたらしたのか。
4. 各講師の説明に関して、自分のこれまでの経験や勉強に基づいて、どのように感じたか、またどのような意見を持ったか。

受講するにあたって

- ①事前学習の
すすめ 特に指定しないが、会計、決算、経営分析等の入門書を一読することを推奨する。また電卓等の計算機を持参すること。
- ②参考図書 特に指定しない。
- ③評価基準 A-講義のポイントの大半以上を正しく理解し、一定の知識・経験を根拠にして自分の見解を十分に展開できる。
B-講義のポイントの大半以上を正しく理解しているが、一定の知識・経験を根拠にした自分の見解を十分に展開できていない（その見解は感想に近い）。
C-講義のポイントを正しく理解している部分もあるが、誤って理解している部分もある。
D-講義のポイントの大半以上を誤って理解している、または講義のポイントが示されず、ただの感想文にとどまる。
- ④より学びを
深めるために 特に参考図書を指定しない。